



2022年10月27日

各 位

会 社 名 エスリード株式会社
代表者名 代表取締役社長 荒牧 杉夫
(コード番号 8877 東証プライム市場)
問合せ先 専務取締役管理本部長 井上 祐造
(TEL. 06-6345-1880)

2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異、 剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と本日公表いたしました同実績値との間に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、当社は、2022年10月27日開催の取締役会において、2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を行うとともに、2023年3月期の配当予想を修正することを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期累計期間業績予想数値との差異（2022年4月1日～2022年9月30日）

（1）連結業績

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	30,000	1,800	1,600	1,000	64円81銭
今 回 実 績 (B)	27,554	2,274	2,235	1,400	90円79銭
増 減 (B-A)	△2,445	474	635	400	—
増 減 率 (%)	△8.2%	26.4%	39.7%	40.1%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	25,696	2,197	2,120	1,275	82円68銭

（2）予想数値と実績値との差異理由

当社の主力事業であります不動産販売事業におきまして、当社が販売するマンションの引渡が当初計画していたより後倒しとなったため売上高が減少しましたが、マンションの中で利益率の高い物件の引渡の一部が、当初計画されていた当期下半期から上半期へ前倒しになりました。また、上半期に販売予定だったマンションプロジェクトを下半期に販売することにした影響で、上半期の広告宣伝費等の販売経費が予想を下回りました。加えて、当社グループの戸建事業において引渡が前倒しになるなど、連結子会社の業績が順調に推移いたしました。これらにより、連結売上高は275億54百万円と予想を下回りましたが、連結営業利益は22億74百万円、連結経常利益は22億35百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億円と予想を上回りました。

なお、2023年3月期通期の業績予想につきましては、2022年5月11日に発表いたしました業績予想に変

更はありません。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正

（1）剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	前回予想 (2022年5月12日公表)	前期実績 (2022年3月期中間配当)
基準日	2022年9月30日	2022年9月30日	2021年9月30日
1株当たり配当金	40円00銭	20円00銭	20円00銭
配当金総額	617百万円	—	—
効力発生日	2022年12月1日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

（2）配当予想の修正

	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		20円00銭	40円00銭
今回予想		40円00銭	80円00銭
当期実績	40円00銭		
前期実績 (2022年3月期)	20円00銭	20円00銭	40円00銭

（3）剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

今般、上記基本方針、昨今の業績実績や業績見通し、堅調な事業用地仕入の状況、連結子会社の業績向上及び内部留保の状況等を総合的に勘案し、当社株式への投資魅力を高め、株主の皆様のご期待にお応えして一層の利益還元を図っていく第一歩として、1株当たり配当金について、2023年3月期中間配当を20円から40円、期末配当予想を20円から40円、年間配当予想を40円から80円とすることにいたしました。

（注）上記の予想につきましては、発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向等を前提として作成したものであり、今後の様々な要因等により、予想と異なる結果となる可能性があります。

以 上